

教職説明会を実施しました。

2月18日(水)、令和7年度「高校生のための教職説明会」を開催しました。今回は本校卒業生で、現在教員として活躍されている加藤ほのか先生(御嵩町立伏見小学校)と山田隆仁先生(関高校)にご講話いただきました。

お二人からは、教員を志した理由や仕事のやりがい、生徒との関わりの中で感じる喜びなど、実体験に基づく貴重なお話を伺うことができました。小学校と高校、それぞれの校種ならではの働き方の違いについても知ることができ、生徒たちにとって進路選択を考えるうえで大きな参考となりました。

また、岐阜県教育委員会の栗本様には、教員の働く環境や給料、免許制度について分かりやすく説明していただき、教職をより身近に感じる時間となりました。



生徒の感想の一部を紹介します

・今までは教員になりたいという気持ちはあったけれど、そこまで強くありませんでした。でも、何をしているときにやりがいを感じるか、先生になろうと思ったきっかけを聞いて、自身と比較したり考えたりするなかで、前よりも興味が強くなりました。

・調べているだけではわからない“生の声”を聞くことができ、より実感をもって将来について考えることができた。同じ日は2度とない職業であり、児童・生徒のことをよく見て関わるのが大切であることがわかり、人と関わるのが好きな私に合う職業ではないかと思った。

・教師は大変な仕事だと思うけれど、子どもたちの成長に触れられる良い仕事だと思うので、本気で目指したいと思いました。